

■活動状況

2023 年度事業報告

2023年度の日本経済は、新型コロナウイルスの国内感染症法上の位置付けが5類に移行し、経済活動の正常化が進みました。しかし、国際的な原材料価格の上昇、円安を背景に、物価高による消費下押しと人手不足による設備投資の遅延に加え、後半になって自動車型式認証制度問題と能登半島地震の影響もあり、景気回復が足踏みしました。一方、九州では半導体関連と物流拠点で中長期的な需要増加を見越した大型の設備投資が複数継続的に実施されたことが、経済をけん引し、昨年12月の日銀短観でも九州企業の増収増益の傾向が示されており、人手不足や価格転嫁の進展を背景に中小企業でも賃上げの機運が普及しました。

NPO 法人北九州テクノサポート (KTS) は、2023 年度に創立 20 周年を迎えて功労者の表彰をはじめ記念講演会の開催と記念誌の発行を行いました。昨年度の活動を振り返ってみると、経済活動の正常化に伴って、EA21 の地域事務局「環境未来」は、中小企業のグリーントランスフォーメーション (GX) に向けた活動を支援していますが、全国的に認証登録企業が微増傾向にある中、自治体や地域の信用金庫との連携による普及活動の結果、2022 年度の 312 社をボトムに 2023 年度は 322 社へ 2 桁増加させる成果が得られました。北九州市は GX に向けた洋上風力発電を製鉄と自動車に次ぐ第 3 の産業に育成することを目指して産業集積と基盤整備を図っていますが、当法人は前年度に続き 2023 年度も北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援を担いました。インターンシップ受入企業の登録は、前年度比で 2 桁増加に転じると共に、展示会におけるビジネスマッチング事業は、入場者数がコロナ前の水準まで回復するとともに、コーディネーターによる商談見込み金額が前年度比で 6 倍に大幅増加するといった成果が得られました。KTS は、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT 活用支援グループが整備したオンライン会議ツール Teams と Zoomなどを駆使しながら、第 4 次産業革命の勉強会や KTS の会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開しました。

<2023 年度の主な活動>

<関係先>

● 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財) 北九州活性化協議会
● 北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財) 北九州活性化協議会
● 課題解決 EXP02023 ビジネスマッチング事業	(公財) 北九州観光コンベンション協会
● 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
● 製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
● 広報誌 (夏号/冬号) の発行	国、県、市、公共・学術機関、賛助会員、協
● 創立 20 周年記念誌の発行	賛会員
● 「第 4 次産業革命」勉強会資料による途上国支援	(公財) 北九州国際技術協力協会
● エコアクション 21 認証・登録事業の推進	(一財) 持続性推進機構 EA21 中央事務局
● 会員相互情報交換会 (オンライン) 1 回	NPO-KTS 会員、地元企業
● 新型コロナ感染防止のためテレワーク推進	NPO-KTS 会員、関係先
● よろず相談 5 件	地域の中小企業